

昭和 32 年

分	款	項	目	節
類	A	6	2	0
保 存	永 年 保 存		昭和 年 月まで保存	

件 名

議会定例会々議録

D 2 冊 の / 号

議会 課

昭和 32 年

款

A

項

6

目

2

節

口

件

名

議会
会
臨時
時例
会
ニ
議
録

口 2 冊の / 号

昭和

年

永年

月

ま

す

保

存

登録番号

第

号

議会 課

(保存文書背表紙)

甲

福生町議会々談録

昭和三年一月九日才一圓福生町臨時議会で福生町役場に招集し

た

一出席した議員は左記の通りである。

才一番 田村利一 才二番 渡井明 才三番 中西虎男

才四番 瀬古清高 才五番 村尾四郎 才六番 米泉 薫

才七番 中森五一 才八番 石川信義 才九番 森田幸高

才十番 山下幸三 才十一番 森田誠重 才十二番 星本 秀

才十三番 清水子市 才十四番 井上碩太郎 才十五番 渡邊美知

才十六番 石川常太郎 才十七番 村尾種吉 才十八番 飯野富太郎

才十九番 森田七郎 才二十番 岡村祐一 才二十一番 高橋三郎

才二十二番 大久保一郎 才二十三番 高橋彦市

一地方自治法才百三一條の規定により、今議事件説明のため議長から出

席へ求められた者は左記の通りである。

町長

秋山 誠一

助役

川澄 金吉

総務課長

大野 忠一

祝賀課長

貫井 忠代次

民生課長

鶴田 泰司

産業課長

森田 猛

土木課長

寺沢 求

水道課長

眞田 眞

（本会の書記は左記の通りである。）

書記

田村 忠雄

上野 重勝

議長

午後一時三十分開会を宣す。

議長

今日の議事日程を報告する。

一、契約締結同意方について。

議長

議案オ一号を提出する。

議案オ一号

契約締結方について。

書記

朗

読

一町長

先般議決された契約に因する条例に基き議案に示す契約につき同意を求める。

本件については五十万円の工事その他の契約について議決を

要するので昨年末に手配した本件について提案した

関係三件の契約中オ一号のものは新しい学校の建築工事で

総坪数は三五五合内訳は校舎二階建て教室、二ヶ所の

出入口二ヶ所、これの他に二ヶ所の小教室八坪である。

設計等については総務委員会に諮り、十二月二十四日入社し

指名して入札したその結果西多摩土建が七四〇万円下落

礼し概契約を締結した。完成は設計者の百二十日かゝると

言うことであるから工期は百二十日と定められ

その后工事関係者の話によつて天気がよければもっと早くなり

町民には見物を入れたいとの意向があった。

暮のうちには枕木等の手配も一了と思われ、基礎についても
暮に地鎮祭をすませ、工事に取のつてゐる。

尚、給食については、食費より二分の一の補助があるから、事務的には
来年度工事として給食は四月から始めたい。

附帯設備についても所管委員会に諮り、来春より早く
手配する。

二番目の件は都市計画街路一三三の工事、これは吾市都市計
画ニ号線と云うむずかしい名がついてゐる道路で、中買十五米
車道九米、両側の各三米の歩道がある。

今回工事分は路面転圧、車道の砂利敷、民地との境をきちつと
する。これは十二月三十一日の建設委員会において指名五社により入札
九十二万円、鈴木組が落札した。これも假契約としてあるが、本日
起工式を行った。工期は来月で二月末完成の見通しである。

場牧町住福郡摩多西都京東

いろいろと道路の建設に盡力された役員各位に感謝する。

オニについては水道の関係である。武蔵野の様島より、都営住宅が
あるから、これに町の水道を敷きたいとのこと、水道委員会が検討
の結果、中学校上の町営住宅より、一三九〇米も道路沿いに、石耗
の鉄管布設し、四十四戸の住宅に給水する。

内容としては、総工費三百万円、最初都では必要部分だけ、
全費を分担すると云ふ話もあったが、交渉の結果、全額負担する
ま、かう町の水道も使用させて欲しいとのこと、この中には加入金

四十四万円の含まれてゐる。そのうちで配管費、枕木、石耗、エタ
パイ等について、日幸商店、太三機工等に見積もりとり、最低価
額一四五五、五五〇円で、太三機工と契約した。これの納期は一月十日
となつてゐる。工事費は九十万円であるが、所管委員会に諮り、
進めてやきたい。これの完成は二月末の予定である。

「議長 本件につき要談の旨無きこと、今議にはかり、全会一致原案を承認するむねを告げらる」

「議長 署名議員は指名により、議長が指名する旨を諒し、左記の者と指名——全会一致承認する旨を告げらる」

才十一番 山下 幸三

才十二番 森田 誠重

才十四番 清水 幸市

「議長 午後一時四十五分閉会する旨を告げらる」

右各議の顛末を記録し、その相違ないことを認するため茲に署名する

昭和三十三年一月九日

福生町議会

議長 田村 利

東京都西多摩郡福生町役場

議員 清水 英市

議員 塩本 栄三

議員 山下 幸三

福生町臨時議会々議録

昭和三十一年二月二十日 第二回福生町臨時議会を福生町役場に開会す
出席議員は左の通りである

第一番 田村利一 第二番 渡井明 第三番 中西虎彦
第四番 瀬古清芳 第五番 林尾四郎 第六番 米泉 重
第七番 中森与一 第八番 西村光人 第九番 石川信義
第十番 森田幸彦 第十一番 山下幸三 第十二番 並木 秀
第十三番 清水与市 第十四番 井上頼太郎 第十五番 沢田美知
第十六番 石川常太郎 第十七番 村尾種吉 第十八番 飯野富十郎
第十九番 田村祐一 第二十番 高橋三郎 第二十一番 大久保一郎
第二十二番 高橋彦市 出席議員 第二十三番 森田誠重 第二十四番 森田茂一
地方自治法第百三十一條の規定により会議の事件説明のための議長
から出席を求められた者は左の通りである

町長秋山誠一、収入役川辺聖一、助役川達金吉、総務課長大野忠一、
税務課長會員井茂代次、民生課長橋本序藏、土木課長高水、求
産業課長森田、猛、水道課長眞田眞

本会の書記は左の通りである

田村 忠雄 上野 重 勝

議長(午前九時十分)これより第二回臨時議会を開会いたします

本日の議案は決算関係の議案であります、補正第一号を上
提いたします

補正第一号、決算書認定に関する件

書記朗読

町長決算については二月五日に監査委員の監査を受け十九日
に総務委員会を審議をいたしております、宜敷く審議
をお願いいたします

東京都西多摩郡福生町役場

東京都西多摩郡福生町役場

議長全部を朗読いたしますようか、要案の説明をいたしますようか
第四号要案の説明をお願いします

浦場賛成

議長それでは要案の説明をいたします

収入役最初の表は總括表を各款毎に一世帯当り一人当たりを一目訳るよう
に並收実績、収入の状況と支出の状況を表してあります

次に歳出款表も各款毎に消費的経費、投資的経費に
分け一目訳るように表してあります、次に歳入としては収入清額
町税収入、四、三、八、五、七、三、二、内、町民税、固定資産税、自動車
税、犬税、たばこ消費税、五、八、四、三、内、右の附記の通り
ます、次に地方交付税五、八、四、三、内、右の附記の通り
ろに説明してあります、次に公益企業財産収入は
一、九、二、五、六、内、で普通財産使用料及手数料、野球場

